

令和7年度 共同生活援助事業所 さくら
第1回 地域連携推進会議報告書

日 時：令和7年10月23日（木）

午後2時から午後4時

場 所：地域支援センターほほえみ事務所

構成員：5名

入居者代表・・・・・・・・・・1名

入居者家族・・・・・・・・・・1名

地域の関係者・・・・・・・・・・2名（行政区長）

福祉に知見のある人・・1名（社会福祉法人 前理事長）

施設職員：4名

管理者（所長）、サービス管理責任者、生活支援員2名

※入居者代表（1名）は、当日体調不良のため欠席。

行政区長（2名）所用のため欠席

市町村担当者1名（大崎市民生部高齢障がい福祉課係長）も所用のため欠席

内 容

1 開 会 （管理者挨拶）

2 構成員・施設職員の紹介

3 議事録署名人指名

行政区長1名と、福祉に知見のある方1名に依頼し快諾をいただく

4 グループホーム見学

4か所のホームを見学。

事前説明として、「厚労省作成の、“地域連携会議推進員の手引き（資料4）”を使用し、見学する際のポイント等確認。

各ホーム、全員日中活動先へ行っている為、リビングで説明をし、掲示物等の確認をしていただく。

・夜間の対応や緊急時の対応等について、固定電話のそばへマニュアルを貼って、慌てず対応できるようにしていることや、それを基に模擬訓練をしていることを説明。

・ほとんどの方が携帯電話を所持しているので、先日 ホームミーティングの場で「詐欺電話の対応」について周知したことを伝える。

※登録した電話以外は出ないようにと注意喚起をしている。

5 議 題

（1）令和7年度事業経過報告

①グループホームの利用者の日常生活の状況について

全員日中活動に参加し、休みの日は自由行動

<日中活動先>

・就労継続支援B型事業所 10名

・就労（障害者雇用）	4名
・地域活動センター	1名
・デイサービス	1名

入居者代表より、在宅時代に比べて今の生活を振り返って話をしてもらう。
 入居約1年が経ち、朝晩毎日おいしい食事を出してもらい、何かあれば相談に乗ってもらえるなど安心して、規則正しい生活が送れています。
 ※各ホームで提供された食事の写真を見て頂く

②地域との関わり状況について

- ・市民一斉清掃や資源ごみの日の当番に出ている
- ・市民祭り等地域行事に参加している

③利用者の権利擁護について

ヒヤリハット報告：1件

事故報告：なし

利用者の意向把握等

- ・年2回のアンケート調査の他、毎月1回のミーティング、居室面談での聞き取りや意見箱設置により様々な意見が寄せられ、ホーム全体行事等の企画に希望を盛り込んだり、支援方法についての振り返りに活用している。
- ・個別支援計画に、反映している。

(2) 委員からのご意見・ご要望について

(施設見学の感想を含めて)

- ・入居者家族より
 「心温まる支援者に出会えて、1年前と比べると見違えるほどの姿になり驚きと感謝です。」という言葉をいただく。

6 その他

次年度の開催は、9月頃の予定

7 閉 会